

事務事業名	廃プラスチックセンター処理参画事業		所属部局	農林商工部		単位番号	6042	
			所属課室	農林振興課		課長名	築野剛司	
	☒ 実施計画事業		所属担当	農業振興担当		担当者名	山本 敏	
基本政策	基本計画体系	Ⅱ にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 03 細目 020 細々目 06
政 策	07	農林水産業の振興	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☒ 義務化されている協議会等の負担金				
施策	12	生産を支える基盤の整備充実						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度） ☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）		法令根拠	南アルプス市農業振興事業補助金交付要綱				
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 廃プラスチック処理センターの運営を行うための負担金を支出する。 負担金の割合は、受益市町への割当て会費と搬入した農用廃ビニール等の量による。			事業費の主な内訳（ 24年度 決算見込）				
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	
				その他負担金	1,779			
						計	1,779	

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
24年度活動実績	処理量の確認と負担金支払い業務
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
農家、廃プラスチック	
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
営農活動で排出される廃プラの処理を共同で行うことで、農家の負担の軽減と環境保全が図られる	
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
可燃物への混入を減らし、市の経費節減を図りかつ環境保全型農業を推進することで、産地間競争に対応でき、しいては農業振興が図られる	

⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	ア:構成市町村数	件
⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	ア:収集量	トン
⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	ア:市の処理量	kg
		イ:構成市町村における市の処理量比率	%
⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
	アイウ	ア:農業産出額(山梨農林水産統計年報)	億円

(2) 事業費・指標の推移				単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円	2,223	1,779	1,690	1,690			
	事業費計 (A)		千円	2,223	1,779	1,690	1,690	0	0		
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
		延べ業務時間	時間	5	5	5	5				
		人件費計 (B)	千円	20	20	20	20	0	0		
		(A)+(B)		千円	2,243	1,799	1,710	1,710	0	0	
活動指標		アイウ	件	14.0	14.0	14.0	14.0				
		アイウ									
対象指標		アイウ	トン	700.0	700.0	700.0	700.0				
		アイウ									
成果指標		アイウ	kg	58,000.0	58,000.0	58,000.0	58,000.0				
		アイウ	%	10.0	10.0	10.0	10.0				
上位成果指標		アイウ	億円	110.0	110.0	110.0	110.0				
		アイ									

(3)この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	事業用ごみとなる農業用廃プラスチックの処理事業を行うため、昭和51年11月に社団法人山梨県農業用廃プラスチック処理センターを設立し、会員として運営費を負担している
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	環境意識の向上により市民の目は厳しくなっている。今後はさらに厳しさを増す。 処理済み物質の活用が困難になる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	施設をあつものとして利用しているので要望などは聞こえない

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている ⇒【内容↓】 ☒ 取り組みしていない⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過（取り組みしていない場合はその理由）	運営するために経費負担であり、しかも処理量に応じているため改善は行っていない
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	なし

事務事業名	廃プラスチックセンター処理参画事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	-------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由↓】 環境に重視した農業生産をすすめることは市の政策に合致している
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由↓】 農家が処理に困り野焼きの原因にもなりかねないものであるため、公共での処理により安全で迅速、低コストで処理できる環境は公共が主導しなければならない 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 ☐ 民間・NPO ☐ 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒【理由↓】 農業用廃プラスチックの処理を目的としている事業であり妥当であり、環境保全問題を考えていく必要性から見直す余地はない
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由↓】 規模の論理が働く事業でありこの方法以上に成果の向上が図れない
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることができるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 廃止することで、処理に困り不法投棄や野焼きによる環境破壊につながる ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 畑への野積みなどが増え環境保全型の農業が難しくなる
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 地球温暖化防止にも資するこの事業に対する負担金であり、削減することは出来ない
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由↓】 負担金の支出業務が主であり、この事業に対する職員の関与時間は最小であると思われる
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由↓】 農業者全員が持ち込めるため公平である

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	農業者が安心して営農活動が続けるには必要な施設であり、さらに、最も重要なテーマである地球環境の保全を行うためには、農業用ビニールを樹園地内で焼却処分する農家を作らないようにする必要があるため共同処理は妥当である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善(公平性⑨の結果) ☐ 休止(目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上(有効性④の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) ☒ コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☒</td> <td>☐</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☒	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について ①センターの法人直営から民間活力導入による指定管理者制度などの活用による、運営経費削減の可能性を検討する必要がある。 ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ① ② ③	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑥</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	⑫	コスト削減優先度評価結果	⑥																	
成果優先度評価結果	⑫																					
コスト削減優先度評価結果	⑥																					